

農山漁村地域整備計画評価調書

計画の概要	計画の名称	糸魚川ヒスイ海岸 安心・安全な海岸づくり計画
	計画策定主体	新潟県、新潟県糸魚川市
	対象市町村	糸魚川市
	計画期間	平成27年度～令和2年度(6年間)
	計画の目標	大和川漁港海岸は、冬季風浪が激しく度重なる越波被害を受けたことから、背後地への波の打ち上げ被害防止と汀線の維持を図るため離岸堤整備を行ったところ越波が軽減されるなど対策効果が確認されている。しかし、依然として汀線が護岸前面の根固めブロックまで後退している箇所があり、汀線維持が出来ていない状況にあることから、新たな侵食対策として潜堤の整備を行い、背後地の安全を確保することを目標とする。 市振漁港海岸の護岸が、現行の設計基準の地震動並びに発生頻度の高い津波及びその津波を引き起こす地震動に対し、安全性を有するとともに背後地を防護できるか、性能調査を行い明らかにする。 鬼舞、大和川、親不知漁港海岸の海岸保全施設の多くが築後40年以上経過し、損傷劣化が著しい。海岸堤防等の長寿命化計画を策定し、適切な施設補強を行うことで施設の長寿命化を図り、地域住民の生命・財産への被害防止を図ることを目標とする。
	評価指標	侵食による被害を未然防止する面積 14ha 性能調査実施率:0%(H28)→100%(H29) 長寿命化計画策定率:0%(H29)→100%(H30) 長寿命化対策率:0%(H30)→100%(R1)
	対象事業	海岸保全施設整備事業(侵食対策) 1地区 海岸保全施設整備事業(海岸耐震対策) 1地区 海岸保全施設整備事業(海岸堤防等老朽化対策) 3地区
全体事業費	605,244千円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	海岸保全施設整備事業から継続で、整合が図られている。また、県の地域防災計画及び海岸保全基本計画との整合性が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	波浪から生命・財産を守るため、海岸侵食対策及び老朽化対策は地域の課題となっている。また、災害から海岸保全区域背後地を防護するために調査を行う目標設定となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	侵食対策の実施により背後地の安全を確保するという目標に対し、侵食による被害を未然防止する面積を指標としている。 また、地震動や津波に対する性能調査を行うという目標に対し、調査対象施設延長に対する調査実施率を指標としていることから、定量的で整合の取れた指標となっている。 さらに、施設の長寿命化を図り、住民の生命・財産への被害防止を図るという目標に対して、長寿命化計画策定率及び長寿命化対策率を指標としている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業完了時に、侵食による被害が未然防止された箇所、調査実施率及び長寿命化計画策定率、長寿命化対策率を確認することで評価可能である。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	構成事業の実施により、侵食による被害が防止され、背後地の安全確保につながることから適切な指標となっている。 また、構成事業の実施により護岸の性能を確認し、性能が不足する護岸には改良工事を実施する等、背後地の安全を確保につながることから、指標として適切なものとなっている。 さらに、構成事業の実施により、長寿命化計画の策定及び対策工事が実施されることから適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	市農林水産課及び県農林水産部漁港課で円滑な事業執行の体制が整っている。
	2 地元の気運が醸成されているか	○	汀線後退や施設の老朽化について懸念しており、安心・安全な海岸づくりが望まれている。また、地震及び津波に対する防災意識が高まっている。
評価結果	評価 I 事業を実施 評価 II 計画の見直し		[評価基準] 「評価 I」は全項目に○印がついている 「評価 II」は1項目でも×印がついている